

令和5年3月新規高等学校卒業生及び新規高等専修学校卒業生の
積極的かつ公正な採用に関するお願い

新規高等学校卒業生及び新規高等専修学校卒業生の就職対策につきましては、日頃から格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年3月新規高校卒業生の県内就職割合は、今年3月末時点で66.6%（速報値）となり、3年連続で上昇しています。長引くコロナ禍においても、県内就職内定率は昨年10月末時点で83.7%と全国平均（74.5%）より9.2ポイント上回り、早い時期での内定をいただいていることが大きな要因と考えています。

県内企業並びに関係機関の皆様方の御協力のもと、コロナ禍の厳しい状況下においても採用枠の確保や求人票の早期提出、早期の内定などの取組を進めていただいていることに対し深く感謝申し上げます。

今年度も7月1日から高校への求人票提出が始まりましたが、7月末時点における県内企業の求人数は前年より増加しており、引き続き早期に求人票を提出していただいているところで

す。一方、県内就職を希望する生徒の割合は引き続き高い状況となっておりますが、少子化により就職希望者数は年々減少しており、将来の佐賀県を支えていく若者の県内への定着を促進していくことは、県内企業の成長や県内産業の振興にとってますます重要な課題となっております。

各企業におかれましては、本県産業を支える人材を確保するため、9月16日から開始される採用選考において、引き続き早期に内定を出していただくとともに、一次募集で内定を得られなかった生徒についても、県内での就職を選択できるよう、二次募集においても採用試験の機会を設けてくださるようお願い申し上げます。

また、現在、新型コロナウイルス感染症が急拡大しておりますが、生徒が感染や濃厚接触等のやむを得ない理由により、面接等に出席できないことなどをもって、採用選考に影響を与えることがないように、重ねてお願い申し上げます。

以上、県内企業の皆様方に対し、会議・会報等さまざまな機会を通じ呼びかけていただきますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

令和4年8月25日

佐賀県中小企業団体中央会会長 内田 健 様

佐 賀 県 知 事 山 口 祥 義



佐賀県教育委員会教育長 落 合 裕



佐 賀 労 働 局 長 重 河 真 弓

